

《2023年度加盟団演奏会予定》

- ♪ ボカ・グランデ 2月14日(火) 第18回定期演奏会 横浜みなとみらいホール小ホール
- ♪ かまくらマナビノキ合唱団 3月25日(土) こどもコーラスフェスティバル 茅ヶ崎市民文化会館
- ♪ アンサンブル クオーレ 3月7日(火) Spring Concert 横浜みなとみらいホール小ホール
- ♪ 西鎌倉混声コーラス 4月29日(土) 第13回定期演奏会 鎌倉生涯学習センターホール
- ♪ アンサンブル海の星 5月14日(日) 第6回定期演奏会 鎌倉生涯学習センターホール
- ♪ 女声合唱かまぐら風 6月17日(土) 第13回定期演奏会「わたしたちの地球」
- ♪ クール百音 (もね) 7月1日(土) 第16回定期演奏会 横浜みなとみらいホール小ホール
- ♪ 大船混声合唱団 10月29日(日) 第19回定期演奏会 鎌倉芸術館小ホール
- ♪ 女声合唱団 ぶどうの会 11月12日(日) 第13回チャリティーコンサート 逗子なぎさホール
- ♪ 白いうた青いうたフェスティバル in 鎌倉  
2月19日(日) 鎌倉芸術館大ホール  
出演団：鎌倉混声合唱団ムジカおさらぎ・鎌倉男声合唱団牧神(パン)・かまくらマナビノキ合唱団・ジュニア合唱団なぎさ道・女声合唱団ミモザの会

2023年度鎌倉合唱連盟演奏会予定

第59回定期演奏会  
8月6日(日)  
鎌倉芸術館大ホール

第65回市民合唱祭  
10月22日(日)  
鎌倉芸術館大ホール

連盟歌練習会開催

合唱連盟歌「心はひとつ」の練習会を開催します。指導は、この曲を作曲された太田彌生先生にお願いします。今年の定期演奏会で、みんなで晴れやかに歌いましょう。

開催日：5月16日(火)  
時間：女声 15:00 - 17:00  
混声 19:00 - 21:00  
会場：鎌倉生涯学習センターホール

2023年度 鎌倉合唱連盟

2022年度の定期総会にて、新しく3名の新理事が承認されました。今年度の体制はつぎのとおりです。

名誉理事長 児島 百代	理事 酒井 雅江 (西鎌倉混声コーラス)
理事長 佐藤 ゆり	理事 (新任) 徳永 桃子 (こーるこすもす)
副理事長 荒井 恵美	理事 (新任) 永倉 麻記子 (かまくらマナビノキ合唱団)
副理事長 古賀 知	理事 西尾 保次郎 (ムジコマーニ ストナート)
理事 (新任) 新井 澄子 (女声合唱かまぐら風)	理事 平野 ゆう子 (アンサンブル海の星)
理事 太田 彌生 (北鎌倉女声合唱団)	理事 松岡 幹枝 (Anemone Coronaria)
理事 小倉 裕 (鎌倉市民混声合唱団)	監事 佐野 絵美 (クール百音)
理事 片桐 恵子 (アンサンブル クオーレ)	監事 中野 香織 (やまさき女声合唱団)

編集後記：

10年前、合唱連盟の加盟団体は52団体、1,500名余の会員がありました。2020年新型コロナが発生してから、定期的に練習会場に通うことも制限され、解散する団も増え、今年度は40団体900名弱の会員数となりました。練習のため外に出ることで、定期的な運動になっていたことができなくなると、筋力も落ち体のバランス感覚が低下します。できるだけ積極的に練習に参加して、体を動かし、楽しく声を出すことで健康を維持していきたいものです。(古賀 知)



鎌倉合唱連盟機関誌 第38号

発行日：2023年1月31日  
編集・発行：鎌倉合唱連盟  
http://kcl2011.sakura.ne.jp/  
加盟団体数：40団体  
会員数：877名  
(2022年12月現在)



新年のご挨拶

鎌倉合唱連盟理事長 佐藤 ゆり

昨年引き続き2022年度もコロナ対策に追われた1年でした。その中でも練習を重ねてくださった合唱団も多く、7月の定期演奏会では25団体、10月の市民合唱祭では34団体が演奏して下さいました。感染予防対策の為、更衣はできませんでしたが、スカーフを効果的に使ったり、民族衣装的な雰囲気を出したり、不便な中にも色々楽しい工夫がありました。皆様の力のこもった演奏を聴くと、マスクを外したい気持ちが更になりました。

さらに、昨年はコロナだけでなく、2月からはロシアのウクライナ侵攻があり、テレビからは毎日、恐ろしい映像が飛び込んできました。私たちは平和だから歌っています。でもウクライナの人達は広場で国歌を歌っていました。ミサイルを避けて非難した地下鉄のシェルターでも歌っていました。誰かが歌い出し、大きな歌声になっていました。命がけの大変な時になぜ歌うのでしょうか。歌は人間にとって何なのでしょう。慰め、喜び、勇気、一致。合唱を楽しむ日々を当たり前で過ごしていた私たちにとって、コロナと戦争は大きな気づきのきっかけともなりました。定期演奏会ではウクライナへ47,000円、市民合唱祭ではアルペ難民センターへ54,009円の募金が集まりました。『私たちは、大きいことはできません。小さなことを大きな愛をもって行うだけです。』マザーテレサの言葉です。多くの方のご協力に心より感謝申し上げます。友達を誘い、喜びを持って歌い続けましょう。

学習センター利用についてのアンケート結果報告 (抜粋) 鎌倉合唱連盟副理事長 古賀 知

昨年2022年10月から、学習センターの利用時間帯区分が変更になり、合唱連盟が中心になり、学習センターの利用を考える会を発足させました。現在30団体の利用団体が入会しています。その利用団体に第1回のアンケートをとりました。その結果の一部を紹介します。

- ・利用時間の変更により集まりにくくなった。2枠予約は経費負担が大きいし、2枠予約したとしても利用しない時間が多くなる。
- ・2時間では時間が足りなくて、終わりに焦る。
- ・活動時間が足りなく、十分な話し合い交流ができなくなる。
- ・18時～20時の利用のために2区分予約する事になり、利用料も増えた。
- ・学習会などで準備含めて4時間とりたいが、予約しづらくなった。
- ・新しい時間枠では活動実態に合わないため。
- ・練習開始時間が早くなり、一日のスケジュールがあわただしくなった。
- ・時間帯により予約が取りにくい。ほかに場所を探しています。
- ・ホールを使用した後、諸室を使いたくても時間がずれている。
- ・2枠4時間の予約が当たり難い。抽選後、講師の都合で日が変わるともう取れない。
- ・会員数が少ない為財政困難で2コマとり、利用しやすい10時～12時にすることが出来ない。
- ・活動する上で2枠取る必要があり、料金負担が増え、予約が取りにくくなった。
- ・他にも、社会人中心の音楽団体では、音を出す前の準備体操の時間が必要であるのに、その時間を削ることをしなければならない状況になっているとの意見があった。

合唱連盟の各団でも今後利用していて、不都合なこと、直してほしいことがあれば、事務局まで連絡ください。よろしくお願いします。



《鎌倉合唱連盟 新理事の紹介》

2022年度の総会で承認された、新理事の紹介をします。これからの活躍が期待されます。

「理事となって」

女声合唱かまぐら風の風 新井 澄子

合唱連盟の理事にご連絡をいただき、半信半疑で2月の総会に出席致しました。私は果たしてどんなお役に立てるのだろうか。お叱りを受けるかも知れませんが、私に出来ることは無いのではないかと感じておりました。幸いな事に3年ぶりに定期演奏会が開催され、7月には初めて運営側に立つ経験をする事が出来ました。ステージに立って合唱が出来るというのは嬉しいものです。ただ、演奏会を支える理事の方々のご自分のお仕事の他に細かい事まで、全部やっていらっしゃるのには驚きました。もう少し、参加団体の皆様をお願いしても良いのではないかと感じました。秋には合唱祭も参加団体が増える形で無事開催され、私の理事としての1年が過ぎた今は、皆様が年に2回、ステージに立つお手伝いが少しでもできるよう努めて参りたいと思っております。

「子どもから大人まで、合唱が親しまれる鎌倉に」  
かまぐらマナビノキ合唱団 永倉 麻記子

かまぐらマナビノキ合唱団は、4年前に教育事業をしているNPO法人マナビノキの活動の一つとして結成されました。元小学校教諭と「歌が好き!」という子ども達が集まって、誰かに教わるわけではなく、みんなで考え、学び合いながら一つの声を創ろうと活動しています。指揮者も伴奏者も音楽家ではありません。私自身も合唱の盛んな学校に通い、合唱は大好きですが、合唱団では児童のサポート役です。ですから長年理事を務めて下さっている各方面のプロフェッショナルの理事の方々の中で、お役に立っているかは疑問ですが、鎌倉で合唱が長く親しまれ、盛んになっていくこと、そして児童合唱団が増えていくことを期待して、微力ながらお手伝いできればと思っております。



「理事就任ご挨拶」

こーるこすもす 徳永 桃子

この度、新理事を拝命しました徳永桃子と申します。14歳の時アメリカより帰国し、鎌倉附属中学校で合唱に出会い、歌うことの楽しさを覚えました。私の音楽活動の原点は当時の合唱にあります。以来大学、大学院と声楽を学び、現在では鎌倉、逗子を中心に演奏活動と、幼児教育、合唱指導をしております。合唱指導にあたっては歌うことの喜び、音楽の楽しさを共有できることを何より心掛けて参りました。今年度より、初めて合唱祭に理事として参加致しましたが、理事の皆様、そしてご出演者の皆様の音楽への愛、合唱への愛を強く感じることができました。指導者と合唱団員が共に手を携えて運営をしている鎌倉合唱連盟ならではの活動を、次の時代へ繋いでいければと思っております。よろしく申し上げます。

11月の市民合唱祭では、皆様からのアルペ難民センターへの募金のご協力、ありがとうございました。現在アルペ難民センターに滞在し、「なぎさ道」に参加されているマヤさんから、メッセージを頂きました。(以下、佐藤理事長による抜粋版です)

私と家族は、この『なぎさみち』合唱団に仲間入りさせて戴き、大変感動しています。最初は言葉の壁による苦勞もありましたが、私なりに日本語習得努力を続ける内に色々な喜びも覚えるようになりました。『多くの人々の前で歌う』といった私にとって初めての経験など合唱団で色々な思い出も出来ました。

或る日、道を歩いていたら、ご高齢のご婦人が私に「コンサートであなたを見ましたよ」と語りかけて下さった時は、本当に嬉しかったです。歌っていると日頃のストレスが和らぎます。私はこれからも歌を続けて参ります。皆様の精神的、そして資金的ご支援に深く御礼申し上げます。

(コンゴ共和国 マヤ)

《2022年度に行われた各演奏会の参加団から感想をいただきました》

第64回鎌倉市民合唱祭に参加して

フラウエンコア・ヴォンネ 後藤 公子

今回もマスク着用の合唱祭。練習時間の確保も不十分なまま本番のステージを迎えてしまい、内心は不安いっぱいでした。幸いなことに、芸術館大ホールの素晴らしい音響効果の力を借りながら、私達のイメージするアフリカへの思いを、パーカッションのリズムに乗せて表現することができました。更衣なしでしたから派手なカンガ(アフリカ一枚布)を着けたまま歩いていたら、全く面識のない方から「良かったですよ」と声をかけられました。こんな嬉しい驚きは私には今までに経験したことがありません。そして、「アフリカの音楽を大変興味深く聴かせてもらった・めったに聴けない曲・エネルギーをもらった」等多くの好意的なミニ講評も頂きました。このように、私達の当初の願い(アフリカの風を吹かせたい)を会場の皆様にお届けできたことはヴォンネの大きな喜びとなりました。また、この合唱祭の企画催行をして下さった連盟の方々のご尽力に深く感謝申し上げます。



(クール百音)

～市民合唱祭に参加して～

クール百音 小菅 愛子

新型コロナウイルスの流行もあり、久しぶりの市民合唱祭への参加となりました。マスクを着用して歌うということはとても難しいことでしたが、ステージの上で歌うことができる喜びと感謝を込めて歌わせていただきました。アカペラということもあり、歌い終わった後にホールと一体となったような間を感じたことを今でも覚えています。

演奏後に皆様からお褒めの言葉を頂きましたことは、とても光栄であると共に今後の励みとなり、団員一同たいへん嬉しく身が引き締まる思いです。この場をお借りしまして、演奏を聴いて下さった聴衆の皆様、会場に来られずとも心を寄せて下さった皆様、そして新型コロナウイルスの流行が続く中、こうして合唱祭の開催、運営を担って下さった連盟の皆様方、クール百音に関わって下さる全ての方々に感謝申し上げます。これからも、音楽が途切れることがないように歌を紡いでまいります。

一日でも早く、マスクをすることなく音楽を楽しむことができる日々が来ますように。



(フラウエンコア・ヴォンネ)

演奏会を開催して

Anemone Coronaria 松岡 幹枝

昨年11月に4年ぶりにコンサートを開催しました。コロナ禍に入ってから当たり前になっていたマスクを外し、ドレスに着替えての演奏会は、やっと少し以前の風景に戻ったようです。

2020年から始まったコロナ禍では、歌うことそのものの難しさを感じながらも、少人数であることが強みとなり、ほぼ途切れることなく練習を続けることができました。歌うことの楽しさを感じながら演奏会のステージに立てたことは、本当に幸せでした。その気持ちが少しでもお越しいただいた方に伝わっていたらうれしく思います。

少しでも早く全てのコーラスが元の形を取り戻すことができますように、心から願っています。



(Anemone Coronaria)